



発行所
長野市大字栗田2142番地
長野県農業卸商業
協同組合
TEL. (026) 228-5730
FAX. (026) 228-5818
定価 1部50円(税込)

令和7年度に発表した

病害虫発生予察情報について

農業試験場病害虫防除部 主幹 内津政直

令和7年度に発表した病害虫発生予察情報は、予報6報、月報8報、注意報4報、特殊報2報、地区報6報(地区注意報4報、病害虫情報2報)である(令和8年3月1日時点)。

本稿ではそれらのうち、注意報、特殊報および地区報(注意報)の中から主だった6報について解説する。

■注意報■

○令和7年5月29日発表 第1号 コムギ赤かび病

※昨年度も注意報が発出されており、この時期は多発生が危ぶまれることが多い

【根拠】

「コムギ赤かび病感染予測システム」により、感染に好適な条件日が出現し、実際に北信地域で初期病徴(図1)が確認されたこと、凍霜害が発生したほ場があり、赤かび病に感染しやすい条件であったこと、気象庁の予報で気温が高く降水量は多くなる見込みであり、赤かび病の感染に適した気象条件が



図1 コムギ赤かび病の初期病徴

【根拠】

6月下旬にすくい取り調査を実施したところ、80%を超える地点で斑点米カメムシ類(図2)の捕獲を記録した(平均約55%)こと、7月下旬のすくい取り調査において、斑点米カメムシ類の1地点当たり

【防除対策と留意点】

開花期から2週間程度が感染しやすい。曇雨天が続くと多発するので、防除を行っていない場合は直ちに防除を実施する。また、開花期に防除を行っていても、その後降雨が続くようであれば、追加防除を行う。

【防除対策と留意点】

凍霜害がみられるほ場では傷口から感染しやすく、また生育が揃いなほ場では感染しやすいステーションの穂が存在するため注意する。収穫期が降雨の多い時期に当たると、降雨により発病が助長され、収穫後の穂は水分を含み病原菌が増殖しやすい。収穫後はできるだけ速やかに乾燥させる。

○令和7年7月14日発表 第2号 斑点米の原因となるカメムシ類

※上田地域では特に多くのカメムシ類が捕獲された



図2 アカヒゲホソミドリカスミカメの成虫

4月に東信地域のカーネーション栽培ほ場において、葉に輪郭が不明瞭な黄斑が発生し、生育が不良となる障害が発生した。

【発生確認経過】

※平成23年に北海道で発生を国内初確認、令和7年に県内で発生を初確認した

【発生確認経過】

成虫の体長は15mm前後である。翅の幅が先の方へ行くほど広がるため、体型は三角形状である。前翅の色は暗い灰褐色から鉄さび色までやや変異がある。前翅の前縁中央付近に小さな三角形の白斑が存在するのが特徴である(図3)。在来のアミガサハゴロ

【形態】

モはこの白斑が楕円状であるため、両者を見分ける一つのポイントとなる。

幼虫は白色で、腹部から背中周りに白い糸状の蠟物質の束が広がっている。

【生態と被害】

発生時点では情報が不足していたが、その後明らかになってきたことも含めて生態を以下に記述する。

【食性】

食性は幅広くりんご、なし、もも、ぶどう、かき等の果樹に加え、街路樹や庭木にも着生する。

【経路】

6月から7月にかけて、北信地域に設置された複数のモモシンクイガのフェロモントラップ、また東信および北信地域に設置されたスモモヒメシンクイのフェロモントラップにおいて、越冬世代成虫が

【経過】

日本では令和3年に初めて確認され、長野県では令和6年に侵入を確認した。

【防除対策】

本種を対象にした登録農薬はない。産卵痕がある枝を見つけたら切除してほ場外で埋設するなど、耕種的防除を実施する。

【地区報】

令和7年7月31日発表 第3号 果樹シンクイムシ類

※多いところでは半年の約



図3 チュウゴクアミガサハゴロモの成虫

20倍のフェロモントラップへの誘殺があった

【経過】

6月から7月にかけて、北信地域に設置された複数のモモシンクイガのフェロモントラップ、また東信および北信地域に設置されたスモモヒメシンクイのフェロモントラップにおいて、越冬世代成虫が

【経過】

日本では令和3年に初めて確認され、長野県では令和6年に侵入を確認した。

本種に對しては、4月30日に地区報第1号(病害虫情報)をトマト、なす、ピーマンに対して発信していた。4月下旬に南信、北信地域のフェロモントラップに誘殺されたためである。その後沈静化していたが、8月に入り、同じく南信、北信で誘殺数が急増し、南信ではトマト果実に被害も確認された。これらのことから、南信地域のトマト、ミニトマト対象に地区注意報を発出した。

このまま記載したものであれば、発表順に、果樹カメムシ類(地区報第2号(注意報))、イネいもち病(注意報第3号)、クロゲハナアザミウマ(地区報第4号(病害虫情報))、ハスモンヨトウ(注意報第4号)、トマト黄化葉巻病およびタバココナジラミ(地区報第6号(注意報))および月々の予報月報がある。これらについては病害虫防除部のホームページをご覧ください。

ファインセーブ フロアブル 殺虫剤分類 34

アザミウマ類に高い効果! 高い耐雨性! 2週間の残効性に期待

250ml入り 500ml入り

農林水産省登録第24070号

日本化薬株式会社

ファインセーブは日本化薬の登録商標

フロストバスター

凍害リスクを下げるコーヒー由来の天然抽出物が長野県の果樹を守ります!

- 低温予報の前日に本剤を500倍に希釈して散布してください。
- 散布液が乾くまでの時間を確保するために夕方以降の散布は避けてください。
- 1製品あたり20aを目安に散布してください。

対象作物: りんご、なし、もも、おとう、かき、茶、その他果樹(花芽が霜害対象のもの)

NICHINO 日本農薬株式会社 東京都中央区京橋1丁目19番8号

フロストバスター特設ページはこちら! https://www.nichino.co.jp/products/frostbuster_index.html

大切な野菜を守る

殺菌剤 Kカンマイ フロアブル

殺菌剤分類 7

有効成分: インピルフルキサム...37.0%

詳細はこちら!

住友化学

住友化学株式会社 〒103-6020 東京都中央区日本橋2丁目7番1号

誘蛾灯

海の温暖化

昨年の夏、富山湾に面する防波堤で竿を振った。以前は坊主になることは無かったのだが、この1、2年は海の幸に恵まれず、浅瀬の海水温が上がっているのが気になった。

ふと「海の温暖化を調べてみると、海洋の熱容量は60年以上前から上昇し続け、過去20年でその上昇速度が倍増しているとのこと。また、地球の余剰熱(到達する太陽エネルギーと宇宙へ逃げるエネルギーの差)のおよそ9割は海洋に吸収されるとのこと。

水は「温めにくい、冷めにくい」性質がある。広大な海洋に絶え間なく膨大な熱エネルギーが蓄えられ続けていること、その熱は簡単には逃げないことを考えると、むしろ海洋は地球温暖化の中心的存在とすら思え、「大気の温暖化」よりもずっと深刻な状況にある気がした。

話題の巻

南佐久地域の夏秋イチゴ栽培における天敵導入の取組について

南佐久地域は、高標高で涼やかな気候を活かした夏秋イチゴ栽培で県内有数の産地となっている。ところが、近年は夏秋期が高温で推移する年が多く、害虫の多発により果実被害が深刻となっている。

背景 南佐久地域は、高標高で涼やかな気候を活かした夏秋イチゴ栽培で県内有数の産地となっている。ところが、近年は夏秋期が高温で推移する年が多く、害虫の多発により果実被害が深刻となっている。

害虫のはなし

クワコナカイガラムシ

カイガラムシ類はカメムシ目に属する昆虫で、雌雄の成虫形態が大きく異なる特徴をもつ。雌は卵、幼虫、成虫という発育段階をたどり、幼虫期の特徴をそのまま保持し、成虫になっても外見が大きく変化しないことが多い。

長野県での伝統的な農業の実現に向け、農業関係試験場では様々な温暖化対策に取り組んでいるが、多くは対症療法である。広大な海洋の温暖化を想うと、そう簡単には温暖化にはブレーキをかけられそうもない。

また、カイガラムシ類は自ら口吻物質を分泌し、体を覆う「介殻」と呼ばれる被覆物を形成する。この構造は卵を保護する役割としても機能し、水や外部からの刺激を遮断するため、防除が困難になる要因となっている。

令和5年、南佐久地域の夏秋イチゴ栽培における天敵放飼試験の実績が、以前試した際、効果がよく分からず、結局農薬をまいてしまった。放飼時期や作業が難しいなど、天敵の扱いに対して難しい印象があり、効果について半信半疑であることが窺われた。

そこで、南佐久地域の夏秋イチゴ栽培における天敵放飼試験の検討及び導入効果の検証を行い、天敵資材を活用した化学農薬に依存しない防除体系の確立を目的に、令和5年から7年にかけて3カ年試験を実施した。試験にあたっては、定期的な調査や巡回を行った。



写真1 クワコナカイガラムシ



写真2 両面テープトラップ

令和5年は、南佐久地域の夏秋イチゴ栽培における天敵放飼試験の実績が、以前試した際、効果がよく分からず、結局農薬をまいてしまった。放飼時期や作業が難しいなど、天敵の扱いに対して難しい印象があり、効果について半信半疑であることが窺われた。

試験結果については、支援センターが主催する南佐久地域の夏秋イチゴ研修会において農家への情報提供を行ったほか、得られた成果について、

モメントフロアブル Bayer 優れた浸透移行性で やっかいな害虫も見逃さない! アザミウマ類 アブラムシ類 カイガラムシ類 ニセナシバダニ

白い守護神 ICボルト 66D・48Q・412 ●JAS法有機栽培に適合! ●果樹・野菜類の幅広い病害で登録取得! 井上石灰工業株式会社

黒星病はもちろん、幅広い病気の予防に ジマンダイセン 水和剤 雨に耐え、じっくり拡散! 製剤技術も自慢です。 ①「付着力」が自慢! ②「耐雨性」が自慢! ③「拡散法」が自慢!

特集 除草剤

「水田」長野農業農村支援センター 奥出聡美 「普通作物」(前)農業技術課副主任専門技術員

普及に移す農業技術

令和7年度は雑草イネに対する除草剤2種類の有効性が確認された。このうちの1剤については初期除草剤として一般雑草に対する効果確認もなされ、いずれについても農薬情報として公表された。

水稲用除草剤(初期剤)

・スタメンフロアブルを水稲移植直後ノビエ1葉期に処理すること、1年生雑草およびホタルイネに対して防除が可能である。

・使用上の留意事項は、「農作物病害虫・雑草防除基準(長野県)」の除草剤の使用方法(初期除草剤)を参照する。

・既発生および後発のホタルイネに対して効果が劣るため、

「果樹」

農業技術課 副主任専門技術員 半田智子

りんご高密植栽培など栽植密度が高く、樹幹の周囲、棚栽培の柱まわりや外周等の雑草

管理が、乗用草刈機や刈払機では難しい栽培では、除草剤を使用する機会が増えている。

除草剤利用の基本

除草剤の効果を得るには、園地に発生する雑草の種類(1年生雑草、多年生雑草等)や雑草の生育ステージ等を観察することが重要である。またラベルに記載されている登録内容(作物名、使用量、使用方法、使用時期等)や注意事項(展着剤加用の必要性等)を確認し、除草剤の特性を把握する。

雑草の種類は使用する剤や使用濃度の選択の際に重要な項目となる。また、降雨の有無、気温、土質等により、効果が差が現れるため、天候も散

で効果的な防除が可能である。スタメンフロアブルは初期剤であるため、雑草イネに対する3回処理の防除体系において、1回目での使用を基本とする。

・スタメンフロアブルは既に発生しているホタルイネや後発のホタルイネに対しては効果が劣るため、体系防除の2回目以降に処理する除草剤はホタルイネにも効果があるものを選択する。

・ラオウキロ粒剤は初中期剤であるため、体系防除の2回目もしくは3回目での使用を基本とする。また、初期の防除効果が体系防除全体に大きく影響するため、丁寧な代掻きと併せて、体系の他剤と本剤との防除間隔は7〜10日間とする。

水稲用除草剤(雑草イネ防除)

・雑草イネに対して、スタメンフロアブルを雑草イネ発生前に処理すること、またラオウキロ粒剤を雑草イネ発生前〜発生始に処理すること

果樹園の除草剤には茎葉処理剤と土壌処理剤が利用されている。

茎葉処理剤は、効果が現れる比較的早く抑草期間が短いという特徴を持つが、葉や果実に対する接触害があるため、散布時には薬液の飛散に注意が必要である。土壌処理剤は茎葉処理剤に比べて効果が遅く抑草期間が長いという特徴がある。

茎葉処理剤は作用性により「接触型茎葉処理剤」「吸収型茎葉処理剤」に分けられる。

「吸収移行型茎葉処理剤」

は、雑草の茎葉に付着した有効成分が吸収移行し、根を含めて雑草全体を枯らす。効果の発現までは7〜14日程度かかる。

「吸収移行型茎葉処理剤」は、雑草の茎葉に付着した有効成分が吸収移行し、根を含めて雑草全体を枯らす。効果の発現までは7〜14日程度かかる。

器の洗浄水は、河川等に流さないほか、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理する。

・雑草イネは本剤だけでは完全に防除することはできない。よって、令和6年度普及技術「雑草イネの出芽動態に基づく代かき前の湛水時期および代かきによる防除方法」に基づいて適切に代かきを実施するほか、雑草イネに対して効果のある初期剤、初中期剤、中期剤を組み合わせた3回の体系防除を適切に行うなど、平成24年度普及技術「雑草イネ総合防除対策マニュアル」や地域の雑草イネ対策指導に従った総合的な対策を実施する。

過去に長野県農業関係試験場から発表された除草剤に関する研究成果については、5年前まで遡って検索することが可能である。

除草剤情報の検索

過去に長野県農業関係試験場から発表された除草剤に関する研究成果については、5年前まで遡って検索することが可能である。

「土壌処理剤」は、土壌表面に処理層を作って留まり、発芽してくる雑草に作用し、抑草する除草剤である。

「土壌処理剤」は、土壌表面に処理層を作って留まり、発芽してくる雑草に作用し、抑草する除草剤である。すでに発生している雑草への効果は期待できない。土壌中に残留する期間が長いものが多く、効果の持続期間も長い。果樹での使用例はそれほど多くないが、「接触型茎葉処理剤」と組み合わせてほ場の周縁等を

「接触型茎葉処理剤」は、基本的に薬液のかかった部分しか枯れないので、根は生き残ることが多い。このため、土壌がやや湿った状態の時に処理することである。また、雑草発生前に処理し、処理後は耕起しないことも重要である。もし、処理前に雑草の発生があれば、「接触型茎葉処理剤」と併用すると良い。

登録内容の遵守

実際の使用にあたっては最新の農業登録情報を確認し、適切に使用する。

実際の使用にあたっては最新の農業登録情報を確認し、適切に使用する。

どうもろこし畑の雑草防除に!



問題雑草の“イチビ”や“イヌホオズキ”にも優れた効果を示します。

ISK 石原バイオサイエンス株式会社
東京支店 〒102-0071 東京都千代田区富士見2丁目10番2号
TEL 03-6256-9190 FAX 03-3237-0571

普及技術の検索はこちらから
「長野県農業関係試験場」 > 「研究情報」 > 「研究成果」
URL: https://www.agries-nagano.jp/research_result

研究成果

長野県農業関係試験場にて取り組んだ研究内容とその成果をご紹介します。

ジャンル別 技術種類別

ここをクリック

作物 作物の研究成果をもっと見る

- 雑草イネの出芽動態に基づく代かき前の湛水時期及び代かきによる防除方法
- 近年の気象動向に適応した硬質小麦の播種期及び播種量

ホームページにある研究情報という項目から、品目ジャンル別、もしくは技術種類別に研究成果を検索することができ、キーワードによる検索も可能である。除草効果の根拠となった試験の成績について詳細に掲載されているため、ぜひ参照されたい。

葉面散布用カルシウム肥料

ストピットII

STOPIT THE SECOND

果実のカルシウム欠乏症の予防、品質向上に

炭酸カルシウム水和剤 農薬登録No.9385

クレフノン

CLEF-NON

リンゴ、カキ、ナシの果面保護に

資料請求先

白石カルシウム株式会社

食品アグリ資材G/〒104-0031 東京都中央区京橋1-11-1 TEL. 03-3538-2354

しぶといハダニはサラバでござる!

ダニサラバ

フロアブル

虫にも病気にも効く新タイプの殺虫剤!

ハチハチ

フロアブル

カイガラムシ類・チョウ目害虫防除に!

オリオン

水和剤 40

パワフルフルーツ殺菌剤!

オーシャイン

水和剤 フロアブル

新規系統のうどんこ病防除剤

ショウチバスター

フロアブル

OAT アグリオ株式会社

農林水産省登録第22032号

殺虫剤分類 8A センチュウ対策に!

D-D剤 テロン

土壌くん蒸剤

優れた効果が期待できます!

センチュウ密度の高い条件下でも、



テロンは、ダウ・ケミカル・カンパニーまたはその関連会社の商標です。

日本化薬株式会社

